

令和4年度事業報告

自 令和4年(2022年)4月1日

至 令和5年(2023年)3月31日

令和4年4月20日開催の、理事会に於いて承認を得ました事業計画並びに事業活動方針に基づき実施した、主要の事業の概況について次の通り報告いたします。

公益社団法人 熊谷法人会

会 長 中 澤 実

1. 事業概況

『当会は、“税のオピニオンリーダー”として、地域への社会貢献を行い、広域的な交流と租税教育を通して、「元気な企業経営者」を力強くサポートし、2市1町の未来を担う人材育成を支援する経営者の団体である』を基本的指針とし、「税の啓発活動」、「税制提言活動」、「地域企業の経営支援活動」、「地域社会貢献活動」、「組織基盤の拡充」、「財政基盤の確立」を中心に事業活動を展開して参りました。

令和4年度前半は、令和2年度・3年度の新型コロナウイルス感染症の影響により慎重な対応を取らざるを得ない状況のため、事業活動も抑えながらの展開となってしまいました。

後半に入り、「税の啓発活動」のうち、租税教育活動ではコロナ禍の下、2市1町の小学校10校(521名の児童)を熊谷法人会青年部会・女性部会が担当として、租税教室に熱心に取り組みました。

「税制提言活動」では、会員・役員へのアンケートを基に全国法人会総連合が取り纏めた「令和5年度税制改正に関する提言」を、地元選出の国会議員並びに熊谷市・深谷市・寄居町の行政の長に税制委員長が中心となり、「提言書」を手渡し致しました。

「地域企業の経営支援活動」においては、広い会場を確保し3密対策や十分なコロナ感染対策をしながら、『新入社員・若手社員研修』、『パソコン研修』、『年末セミナー』を開催、また、オンラインによる『PCデータ整理で業務効率化実践セミナー』や『相手を動かすプレゼンテーション講座』、「アフターコロナの『働き方・コミュニケーション・人材育成』どう変わる!？」を開催、多くの会員企業の皆様に参加頂きました。

「組織基盤の拡充」・「財政基盤の確立」では、9/2(金)に、税務当局、税理士会、法人会役員との「三者懇談会」を開催後、組織委員会と厚生委員会合同の委員会を開催致しました。当日は、税務当局、税理士会、法人会役員との関係支援団体の皆様からの多大なるご支援とご協力を仰ぎながら、会員が一体となって組織・財政基盤の充実・強化に努めました。

しかし、会員数は2,531社と対前年比▲57社、加入率に於いても▲1.1%の減少となりました。減少の主な理由としては高齢化による事業の休廃業・縮小、経費の削減、メリット無し等々、が主な退会理由となっております。

また、令和2年・3年と新型コロナウイルス感染症の影響で開催を自粛していた各地域のイベントも後半、徐々に動き始め、各支部事務局の皆さんと共同し法人会のジャンパーを着てイベントへ積極的に参加致しました。

女性部会の中心的な事業の、「第8回税に関する絵はがきコンクール」では、小学校54校全ての学校に参加協力を頂き、児童2,556名(応募率85.9%)と埼玉県下15法人会の中でも上位の実績を維持しております。今年の3月25日(土)には、県北四法人会女性部会による、合同の租税教室を深谷アウトレット隣り、「深谷ファーム」内にて、多くの子供たち・保護者の皆様をお迎えし開催致しました。

青年部会では、主力事業の一つ、「健康経営PJ」の宣言書獲得目標24企業に対し29企業(120.8%)を獲得達成致しました。

事務局体制に於いては、「清く・正しく・元気よく」笑顔あふれる事務局体制に力を入

れ、2年が経過。更なる事業の充実を図ると共に改善に努め、会員の皆様に寄り沿った事務局体制の構築に努めて参りました。

以下、それぞれの関係についてご説明をさせていただきます。

2. 総務関係

- ①法人会の財務基盤でもある会員数につきましては一時期の退会者の増加現象から近年は、純減幅は徐々に小さくなって来ているものの、休業・廃業等の理由から依然新規獲得以上に退会数が上回り、厳しい状況は続いております。なお、支出面に於いては、今年度新型コロナウイルス感染症による行動制限や規制解除により、延期や中止になっていた多く公益事業が復活、特別講演会、役員県外研修会、各種セミナー等の開催により公益目的事業費が大幅に支出増加となった。更に、各支部でのイベントへの協賛金も増加、正味財産期末残高に於いて、対前年度比▲6,168千円増となってしまった。
- ②国税電子申告・納税システム（e-Tax）の利用率向上を目指し推進した結果、役員利用率は98.0%と昨年度より3.9%改善致しました。
- ③企業の税務コンプライアンス向上を図るため、「自主点検チェックシート」を各委員会及び会報への封入及び掲載を行い、活用を周知した。
- ④インボイス制度への取組み及び登録について、当局と連携を図り周知徹底を実施致しました。
- ⑤電子帳簿保存法について、令和6年1月1日から適用となる為、「電子帳簿保存法 ポイントと対応」の小冊子を全会員へ配布した。

●令和4年度「会報同封小冊子タイトル」

配布月	タイトル
令和4年5月	電子帳簿保存法 ポイントと対応
7月	元気な心と体を保つ歩く健康法
9月	パワハラだけじゃない ハラスメント 相談窓口の設置と運用
11月	「自主点検チェックシート」を活用していますか？
令和5年1月	あなたと大切な人のための「ライフノート」
3月	書ける伝わるビジネス文書術

3. 組織関係

- ①当委員会では、9月から12月の期間に会員数増強運動を行い、地元の金融機関・税理士会・提携生損保にも協力を呼び掛け、各支部においても活発な会員勧奨活動を展開致しました。また、「役員一人1社会員獲得運動1000」による、声かけ運動を展開、役員、関係者一体となり会員加入勧奨に取り組みましたが、厳しい経済状況の中で、埼玉縣信用金庫26会員、埼玉りそな銀行8会員、提携生損保2会員と、大変厳しい状況下ご健闘を頂きました。
なお、今年度は期末現在会員数2,474社と前年同期比▲57社減少、内今年度の8月の理事会に於いて強制退会を38社、退会処理を行いました。結果、加入率は49.4%と前年同期比1.1%の減少となりました。
- ②組織の拡充・強化のため、組織委員会・厚生委員会を合同として委員会を9月2日(金)に開催。32名の委員並びに提携生損保3社の幹部・推進委員の皆様が一堂に会し、令和4年度の「会員増強運動」及び「福利厚生制度推進」について、話し合いました。
- ③青年部会員につきましては、令和4年度定年による退部者が11名、入会者が3名で、最終的には、期末部会員数94名となりました。次年度、新体制の下、会員獲得を推進して参ります。
- ④女性部会員は、期末部会員数434名と前年同期比18名減少致しました。
- ⑤会員の状況について

(1) 会員数等

(令和5年3月31日現在)

	本 会	青年部会員数	女性部会員数
所管法人数	5,662社	—	—
会 員 数	2,474社	94名	434名
加 入 率	43.7%	—	—

(2) 会員支部別状況

(令和5年3月31日現在)

項目	支部名									所管法人数
	熊 谷	深 谷	寄 居	妻 沼	岡 部	川 本	花 園	豊 里	合 計	
期首会員数	1,190	549	243	182	120	96	108	55	2,531	5,648
所管法人数	2,786	1,323	479	337	233	188	200	116	5,662	—
期末会員数	1,163	532	241	179	116	97	91	55	2,474	5,662
増 減	△27	△17	△2	△3	△4	1	△5	0	△57	14
加入率(%)	41.7	40.2	50.3	53.1	49.8	51.6	45.5	47.4	43.7	—

(3) 会員状況の推移

(令和5年3月31日現在)

項目	年月	平25/12 (公益社団)	平26/12	平27/12	平28/12	平29/12	平30/12	令元/12	令2/12	令3/12	令4/12
	法 人 数		5,635	5,485	5,445	5,467	5,496	5,358	5,578	5,617	5,648
会 員 数		2,838	2,754	2,778	2,770	2,731	2,668	2,627	2,572	2,553	2,504
加入率(%)		50.4	50.2	51.0	51.0	49.7	50.2	47.1	45.8	45.2	44.2

⑥三者懇談会

令和4年9月2日(金)にコロナ対策を万全に行い、税務署、税理士会、当会による「三者懇談会」を21名参加の下、開催致しました。三者懇談会は、9月から12月末までの会員勧奨に対する推進運動について及びe-Tax利用推進について、ご支援をお願い致しました。また、税理士の先生より、多くの貴重なご意見をお聞きし、熊谷法人会会員増強に対しお力添えを頂いております。

4. 研修関係

研修委員会を9月14日(水)と令和5年3月10日(金)の2回開催。当日は、今後の研修会・セミナー・役員県外研修会について、活発な意見交換が実施されました。

今後の研修事業について、コロナ禍に於ける取組み方法やオンライン研修やWEB会議導入等について、検討されました。

(1) 研修会の開催

①令和4年度の研修会の開催状況は、下記の表の通りでコロナ禍の影響を受け開催回数、参加者はコロナ前に比し少ないが、昨年比徐々に改善傾向が見られた。

今後は、決算期別税務説明会、業種別税務研修会、新設法人説明会、相続・贈与税務研修会等、熊谷税務署とも相談を行ない、参加者の安全面を考慮し実施回数を増やして行きたい。

②各支部で予定していた相続セミナー、簿記講習会、健康体操は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

③税務研修会として熊谷支部では、熊谷税務署小出統括官を講師にお迎えし開催。

12月8日(木) 場所：熊谷市立商工会館 テーマ：「税のよもやま話」

④熊谷支部県外視察研修会実施 江の島「江島神社」・鎌倉「大河ドラマ館」他
参加者：17名

⑤妻沼支部では、「健康講座」、DVD研修会を開催。

11月12日(土) 公開講演会を開催。参加者：77名

講師：牛窪 恵氏 テーマ：いま求められる地域再生～若者の「地元愛」と令和のエリア活性化とは？

- ⑥妻沼支部では、会員親睦・交流会実施 都内「両国国技館」 参加者35名
- ⑦「新入社員セミナー」は各企業の要望があり、新型コロナウイルス感染防止対策を行ない実施。52名の参加者があり、2部屋に分けて半日研修として開催。(熊谷商工会議所との共催)また、フォローアップセミナーはオンライン開催とし、18名の参加者があり、2時間コースとして実施。
- ⑧令和4年度前半は新型コロナウイルス感染症対策をとり、経営特別セミナーとして、下記のセミナーを前半はオンラインで、後半は対面形式にて開催致しました。
- ・6/14(火)「PCデータ整理で業務効率化実践セミナー」講師：山口香央里氏
 - ・7月・8月・9月にパソコン研修を「中級・上級・裏ワザ」を熊谷会場、深谷会場の計6回開催 講師：岩見 誠氏
 - ・8/22(月)オンライン開催 「相手を動かすプレゼンテーション講座」
講師：西脇 資哲氏
 - ・9/26(月)オンライン開催 「アフターコロナの『働き方・コミュニケーション・人材育成』どう変わるか?」講師：中村 成博氏
- ⑨年末調整セミナーは、関東信越税理士会熊谷支部の税理士の皆様のご協力により、熊谷市・深谷市の2会場で実施。
- ・11/9(水)「年末調整セミナー」熊谷会場 参加者：34名
 - ・11/14(月)「年末調整セミナー」深谷会場 参加者：42名
- ⑩11/25(金) オンライン開催 「新入社員・若手社員研修フォローアップ研修」
講師：安田 裕美氏
- ⑪税務相談会は、令和4年度予定通り7回開催。(参加者：延べ29名)
(講師：関東信越税理士会熊谷支部 安原 宣彦税理士)

(2) その他の研修活動

- ①無料のインターネットセミナー(オンデマンド研修)の利用も年々増加しており、アクセス数でも1カ月1,000件を超え、会員ログイン数も100件を超えており、「いながらしての研修」への関心度の現れと思われます。現在、600タイトル以上のセミナーが無料で受講出来ます。
- ②DVDの貸し出しは、社内研修・従業員の自己啓発等にご活用頂きました。
ビデオ・ライブラリーの充実により、令和4年度は42本のご利用を頂いております。
現在、323巻のDVDを補完、社員の職場での教育、管理者向け研修や新入社員研修等で利用して頂いております。
- ③研修内容の充実とWebによるオンラインの配信について、会報等で周知した。
- ④高齢化社会に対応した年金セミナーを2月17日(金)マロウドイン熊谷にて開催。新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い開催。

(3) 研修実施回数と参加者数

集合参加型研修の実施回数と参加者数

	本会事業		支部事業		部会事業		合計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
税法・税務	36回	735名	1回	77名	3回	94名	40回	906名
経済・金融	2回	70名	0回	0名	0回	0名	2回	70名
その他	11回	238名	1回	77名	3回	94名	15回	409名
合計	49回	1,043名	2回	154名	6回	188名	57回	1,385名

参考：実施回数・参加者数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	94回	85回	27回	31回	57回
参加者数	2,613名	2,378名	423名	423名	1,385名

上記集計には「インターネットセミナー」の受講数は含まれません。
(平均1,227件内一般アクセス94件、会員1,133件/月)

5. 税制関係

(1) 税制改正要望活動

- ① 6月15日(水)開催の税制委員会に於いて、令和5年度税制改正要望は、税制委員会で各支部会員からの要望事項を取りまとめ検討した。
- ② 令和5年度税制改正に関するアンケート調査集計を取り纏め、当会としての要望を全法連、県法連に提出致しました。
特に、今回のアンケートでは「インボイスと消費税」に関するアンケート内容が多く取り上げられた。(役員回収率：86.2%)
次年度は役員回収率100%を目指します。
- ③ 10月13日(木)には、法人会全国大会(千葉大会)が開催され、全国の法人会組織を挙げての税制改正提言が決議され、その提言事項を、当会地区選出国會議員全員と熊谷市、熊谷市議會議長・深谷市、寄居町長に対し、全国法人会・当会会員の総意として提言いたしました。(参加者：会長・税制委員長・事務局長)

(2) 税務行政関係

三者懇談会(税務署、税理士会、当会)を開催し、管内納税者協力団体として連携を図りました。三者懇談会は、当会の会員加入勧奨に対する増強運動、e-Tax利用率向上をお願いする場でもあります。

6. 社会貢献関係

(1) 税の啓発活動

- ① 11月11日(金)～11月17日(木)の「税を考える週間」に於いて、熊谷税務署春日署長による租税教室として、「署長講演」を11月15日(火)開催。(女性部会の事業)
- ② 11月15日(火)特別講演会は、コロナ対策を十分とり、参加者の安全面・健康面を考慮し3年ぶりの開催となった。
場所：ホテルガーデンパレス 講師：渋澤 健氏
テーマ：「論語と算盤」で未来を拓く 参加者110名

(2) 社会貢献活動

- ① 管内各支部内で催される、「ふるさとの祭典市」や「産業祭」等に、法人会と熊谷税務署幹部の皆様が共に参加、地域に密着した活動と地域社会貢献に積極的に取り組みました。令和4年度も新型コロナの影響で「復興チャリティコンサート」は中止。「はなぞのふるさと納涼夏祭り」・「花園節分祭」・「おかベコスモス祭り」は開催され、支部役員の皆様がイベント用ジャンパーを着て、「啓蒙用チラシ」を配布。特に、おかベコスモス祭りでは、岡部支部女性部会の皆さんが「ポップコーンの無料配布」を行った所、大変好評で長蛇の列が出来る程、社会貢献活動に寄与致しました。
- ② 豊里支部では、渋沢栄一記念館駐車場で行われた、青淵まつりへの協賛・参加。
参加者：14名 また、「深谷市青淵公園をきれいにする会」へ協力(清掃活動を実施)
参加者：21名
- ③ 女性部会が中心となって行っている「エコキャップ回収事業」は、各支部の協力によりキャップの回収累計が今年度1/5現在、3,422,555個となり、医療支援・社会貢献活動としてNPO法人エコキャップ推進協会へ寄贈させて頂いております。

7. 広報関係

広報委員会では、年間6回の編集会議を重ね、計6回奇数月に会報を発行。

(1) 広報誌「法人くまがや」の発行

広報誌「法人くまがや」	No.209号(令和4年5月号)～No.214号(令和5年3月号)
全国法人会総連合 機関紙「ほうじん」	年間4回発行「法人くまがや」と同封して送付

- ① 内容も当局の税制改正の主要事項をはじめ、TAX・Q&A、県税事務所からのお知らせ

せ等税に関する情報や、地元税理士による寄稿及び各支部の活動状況や研修・行事等フレッシュな情報提供を頂きながら充実した内容に努めて参りました。

201号発行分より、紙面も見やすい全面カラー版と致しました。

- ②「第7回税に関する絵はがきコンクール」入賞作品を、ポケットティッシュとして作成。法人会グッズとして租税教室等で配布。
- ③「会長訪問」も、各企業経営者の皆様のご協力の下、会長と代表者様との対談型式で原稿を取り纏めさせて頂きました。

8. 厚生関係

9月2日(金)に、組織委員会・厚生委員会合同会議を開催。福利厚生制度推進連絡協議会も合わせて開催。「新設法人データ」の有効活用により、会員増強をお願いした。

(提携生損保3社の実績は別紙の通り)

- ①福利厚生制度「想いをつないで50年“会員企業を守りたい”」キャンペーンを推進。コロナ禍で、提携生損保3社の推進員と経営者が直接会う機会が少ない中、事務局として役員の皆様に事前にアポイントをとり、面談機会を頂き成果に結びついた。また、会員向けに会報へ啓発記事、チラシ等を封入し商品のPRに努めた。
- ②大同生命は、法人会福利厚生制度「想いをつないで50年“会員企業を守りたい”」キャンペーンの必成に向けて「大型保障制度」を推進。役員加入率の75%以上獲得に向けて大同生命と法人会事務局で情報交換を行い推進した。また、「役員紹介運動」の推進による、役員企業へ推進員訪問を実施した。

《大型保障制度》

○対象役員企業71社 加入役員48社 役員加入率67.6% 目標未達▲6社

- ③青年部会員には、「健康経営宣言書」の提出及び「ウォーキングキャンペーン」をセットに福利厚生制度を推進した。

《青年部会新規契約企業》

○目標6 実績3件 進行率50.0%

- ④女性部会員の加入率向上と新規制度加入を推進した。目標4社 実績0社
- ⑤AIGは、ビジネスガードの役員加入率の向上、加入促進を図った。また、万一の備えの新商品「真骨頂」の商品パンフレットを配布した。
- ⑥アフラックは、特に会員企業の従業員を対象に「転入促進」を積極的に推進。また、役員企業に対する加入率の向上、新契約保険料・転入保険料の新規加入企業獲得数の推進強化を図った。
- ⑦平成23年度より実施しております「成人病予防検診事業」については、令和4年度は3日間で44名が受診し、事務取扱手数料は約113千円となり、着実に成長している事業となっております。令和5年度についても、広報チラシを作成し会報に折り込み広報活動を積極的に行い、会員企業の受診機会を提供し、健康経営の一助となりますよう情宣致したい。
- ⑧提携生損保3社の“企業を守る福利厚生制度「自主点検チェックシート」の活用。
- ⑨熊谷総合病院の「PET-CT検診」について、会報への折り込みチラシを封入し、会員利用の促進を図る。

以下に提携生損保会社の実績をご報告いたします。

経営者大型総合保障制度（大同生命保険株式会社）

大型総合保障制度加入状況			令和4年度 新規加入企業
項目	令和4年3月末	令和5年3月末	
会員数	2,531社	2,445社	目標19社
加入企業数	407社	393社	実績10社
加入率	16.1%	16.0%	達成率52.6%

ビジネスガード（A I G損害保険株式会社）

項 目	令和4年3月末	目 標	実 績	目標達成率	令和5年3月末
加入企業数	193社	193社	203社	105.18%	203社
加 入 率	7.95%	—	—	—	8.50%

がん保険（アメリカンファミリー生命保険会社）

項 目	令和4年3月末	目 標	実 績	目標達成率	令和5年3月末
加入企業数	438社	—	—	—	432社
加入件数	1,328件	—	—	—	1,261件
加 入 率	18.2%	—	—	—	18.0%

9. 青年部会

①今年度も引き続き、「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を浸透・普及させるため、青年部会では昨年度より活動に取り組んでいる「健康経営宣言書」の登録について、新青年部会長を中心に大同生命保険㈱とタイアップして取り組んで来た。結果、「健康経営宣言書」提出企業24社県連目標に対し、29社（達成率：120.8%）の獲得目標達成となった。

②女性部会・青年部会の共同事業として、「租税教室」を下記の通り実施致しました。

○令和4年度「租税教室」実施校

開催日	学 校 名	開始時間	終了時間	児童数
4. 5 . 2 4 (火)	熊谷市立市田小学校	10:45	11:30	25名
4. 5 . 3 0 (月)	熊谷市立中条小学校	9:45	10:30	36名
4. 6 . 8 (水)	深谷市立岡部西小学校	10:45	11:30	51名
4. 6 . 1 4 (火)	深谷市立川本北小学校	10:40	11:25	61名
4. 6 . 1 6 (木)	寄居町立男衾小学校	10:40	11:25	97名
4. 6 . 2 0 (月)	寄居町立桜沢小学校	10:40	12:20	44名
4. 6 . 2 7 (金)	深谷市立上柴東小学校	10:45	11:30	69名
4. 7 . 1 (金)	寄居町立鉢形小学校	13:50	15:35	43名
4. 1 2 . 1 3 (火)	熊谷市立別府小学校	13:40	14:25	57名
5. 1 . 2 0 (金)	寄居町立寄居小学校	13:45	14:30	38名
合 計	10校	—	—	521名

③会員増強運動では、青年部会員のネット網をフルに発揮し、1/31現在3名の若手経営者が入会。令和4年度は、11名が定年となり7名減、3/31現在の青年部会員数は94名と、埼玉県連下でも多くの会員数を維持致しました。

④8月に実施している「りそなキッズマネーアカデミー」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

⑤北部ブロック青年部会四法人会合同研修会に参加。（幹事：本庄法人会）参加者：18名

⑥青年部会「県外研修会」は、会員相互の親睦と異業種交流や他企業との情報交換の場とし大変有意義なものとして毎年開催していましたが、今年度2月に開催予定で計画致しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止から中止と致しました。

⑦「垂統塾」への参加。3名参加し2名が終了。後日、埼玉県法人会連合会より修了書が直接本人へ郵送にて贈呈されました。

⑧全国青年の集い「沖縄大会」開催、当会からは8名が参加致しました。

11/24（木）～11/25（金）

- ・大会スローガン：「ゆいまーる 未来をまもり、拓く」コンセプト：「助け合い」
- ・活動の2本柱：「租税教育の継続・財政健全化のための健康経営プロジェクトの推進」

10. 女性部会

- ①今年度、第8回目となる「税に関する絵はがきコンクール」を実施。熊谷市・深谷市・寄居町の各教育長様より「コロナ禍だから子供たちに夢を与えて頂きたい」旨、ご支援・ご理解を頂き、本事業には熊谷市、深谷市、寄居町の小学6年生2,556名の児童に、参加頂きました。応募率も85.9%（昨年度95.0%）となり、1月19日(木)審査会に於いて、優秀作品33点を選定致しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「熊谷文化創造館月のホール さくらめいと」での表彰式中止、表彰状・副賞・参加賞は事務局より各学校長先生へ直接手渡し致しました。
- ②令和4年度新型コロナウイルス感染症も徐々に落ち着きが見られることから、会員同士の親睦と研修を図る目的から、今年度は恒例の1泊2日の役員県外視察研修を日帰り研修とし、東京都有明の「ライオンキング」観劇を実施致しました。
- ③11月11日(金)～17日(木)の「税を考える週間」では、租税教室を青色申告会連合会、納税貯蓄組合連合会と共同開催として、講師に熊谷税務署春日署長による「これからの社会に向けて」と題して、「租税教室」を開催致しました。
- ④12月開催予定の「年末講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から中止と致しました。
- ⑤熊谷支部で毎年実施している、「健康体操」は新型コロナウイルス感染症拡大の為、中止。
- ⑥全国女性フォーラム「静岡大会」を「ツインメッセ静岡」にて、開催。
会場：ツインメッセ静岡
参加者：川野辺部会長、栗原副部会長、西倉常任理事、事務局からは磯村の計4名が参加。
キャッチフレーズ：[ふじのくに“地域で学び、文化でつなぐ”女性の力]
- ⑦その他各支部に於いて、実施された事業については、別紙をご参照下さい。